

User Report

ユーザーレポート

— 0の証明 —

■ 柿木観光バス株式会社

安全と効率の両立へ ～自動点呼システムがもたらす新時代の運行管理～

団体バス旅行の企画や学校行事、冠婚葬祭場などへの送迎を請け負っている。県内の自然を満喫できる「旅情ツアー」や水陸両用観光バスによる「諏訪湖探検ダックツアー」などのバスツアーの企画や運営を行う。

ご利用機器

e点呼セルフ
Type ロボケービー



ALC-PRO II
Alcohol Recording System For Professional

● IC運転免許証リーダー



ALC-Mobile II



導入のきっかけ より厳格な管理体制の必要性

当社は、以前より東海電子の業務用アルコール検知器「ALC-PRO II」と「ALC-Mobile II」を使用し、アルコール検査を徹底してきました。当社の規定では、測定結果は 0.000mg/L でなければ運行できません。ドライバー全員がこれを理解していますが、人間には弱さがあります。甘えが生じる可能性を考慮することも管理者の務めです。また、業界内で耳にする「なりすまし検査」等の事例から、より厳格な管理体制の必要性を感じていました。そこで、映像や音声を記録し、不正行為を効果的に防ぐことができる自動点呼システム「e点呼セルフ Type ロボケービー」の導入を決定しました。



※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。

製品導入による効果 効率化と新たな課題

これまでは、深夜帰庫するドライバーの点呼のために運行管理者が待機する必要がありましたが、「e点呼セルフ」の導入によりこの状況が大きく改善されました。ドライバーが「安全に戻るので点呼は自身で行います」と連絡することで、運行管理者は適切な時間に退社できるようになりました。これにより、管理者の体力的・時間的負担が大幅に軽減され、同時に会社全体の経費削減にもつながっています。

一方で、新たな課題も浮上しています。これまで対面で確認していたドライバーの疲労度の判断が難しくなったのです。ドライバーが「大丈夫、疲れていない」と申告しても、顔色や話し方から直接確認できないことへの不安は残ります。

「e点呼セルフ」は、運行管理の効率化とコスト削減に大きく貢献しました。今後は、自動点呼システムの利点を最大限に活かしつつ、懸念事項に対する適切な対策を講じていくことが重要だと考えています。



安全への取り組み① 多角的な安全確保策

当社では、東海電子の業務用アルコール検知器と自動点呼システムを使用する以外にも、様々な方法で安全確保に努めています。まず、全従業員の定期的な健康診断を実施し、健康管理を徹底しています。

車庫内の安全対策としては、タイヤの輪留めを必須としています。また、タイヤ交換作業は最低でも二人以上で行うことを原則とし、多人数で実施するよう心がけています。

車両の安全性向上にも注力しており、先進の安全設備を備えた新車を積極的に導入し、国土交通省が定める必須装備品はもちろん、安全性向上に寄与する装備は可能な限り搭載しています。

さらに、車庫内での事故や労災事故の防止、そして公道走行時の「絶対安全」は会社全体のモットーです。特にドライバーには、プロとしての責任感を持って日々の業務に臨むよう指導を行うと同時に、全従業員への安全意識の浸透を図っています。このような多角的な対策を講じることで、総合的な安全確保の実現に取り組んでいます。

User Report

ユーザーレポート

— 0の証明 —

■ 柿木観光バス株式会社

安全への取り組み② 独自に行う幅広い分野の社会貢献

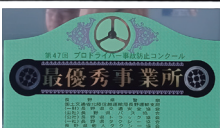
当社は、事業活動と並行して地域社会への貢献を重要な使命と考え、多様な活動を展開しています。

環境保護の観点から、諏訪湖に流入する河川の汚染問題に着目し、定期的な草刈りや清掃活動を実施。この取り組みは、地域の環境維持と諏訪湖の生態系保護に寄与しています。

また、近隣の保育園や小学校の通学路に面していることから、子どもたちの安全確保にも注力。園児や児童の登下校時に積極的に声かけを行い、地域の防犯活動に貢献しています。

災害対策や交通事故防止にも力を入れ、労働基準協会の運輸専門委員会の理事として活動。事故防止のための標語提案、労災・労務報告書の提出、安全パトロールの実施などを通じ、業界全体の安全意識向上を目指しています。

このように、当社は環境保護から地域の安全、業界全体の改善まで、幅広い分野で社会貢献に励んでいます。これらの活動を通じて地域社会との絆を深め、企業の社会的責任を果たすよう努めています。今後も地域に根ざした企業として、これらの取り組みを継続し、さらに発展させていく所存です。



▲ 事務所に並ぶ数々の認定証と表彰状

今後の展望 安全性と持続可能性の両立を目指して

当社は観光バス専門企業として、「絶対安心! 絶対安全!」を最重要方針に掲げています。これは事業の根幹を成す理念であり、全社員が深く心に刻み、日々の業務に臨んでいます。安全運行の徹底と並行し、現在の課題であるドライバー不足の改善にも取り組んでいます。新たな人材確保に努め、個々のドライバーの負担軽減と過労防止を目指しています。十分な人員確保により、業界の厳しい現状を打開し、安定した運行の実現を図ります。

私たちは以下の点を特に重視しています。

1. 「絶対安心! 絶対安全!」の理念に基づく事故ゼロの達成
2. 無理な運転を絶対に行わない、また行かせない職場環境の構築

これらの取り組みを通じ、お客様への最高品質のサービス提供と、従業員にとっても働きがいのある職場環境の創出に尽力します。安全性と快適性を兼ね備えた観光バスサービスを通じて、地域社会への貢献を継続してまいります。



東海電子への要望 より迅速なサポート体制に期待

点呼に不可欠な信頼性の高い機器だからこそ、アフターフォローの更なる充実をお願いしたいと考えます。特に突発的な故障時には、業務に重大な支障をきたす状況に陥ります。支局への報告が滞ることは避けたく、また、機器の不具合による報告漏れで、東海電子の機器利用承認が取り消されるリスクも懸念されます。

このような事態を防ぐには、迅速かつ効果的な対応が不可欠です。問題発生時に速やかに担当者と連絡が取れる体制が整えば、多くの課題が解決できるでしょう。より一層のサポート体制の強化に期待しています。

取材ご協力

柿木観光バス株式会社

代表取締役社長 神林 守夫 様



住所: 〒392-0016 長野県諏訪市豊田1152
TEL: 0266-58-1987

※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。